
東方粒子黙

Xsis

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方粒子黙

【Nコード】

N8185Y

【作者名】

Xsis

【あらすじ】

うおんでつど・・・この小説は処女作です。
詳しいことは省きます。東方の小説です。

プロローグ・・・あとキンクリ？（前書き）

文がひどいかもね

プロローグ・・・あとキンクリ?

~~~~~side~~~~~

「ありがとうございました〜(棒)」

あらかじめ棒読みな店員の声を背中に受け、俺はコンビニを出た。

「楽しみだな〜」

予約していたゲームとコーラ片手に俺は鼻唄混じりで歩いていた。

「ん?・・・なんだありゃ・・・」

フラフラと走っている危険な大型車を見てつぶやく・・・

「・・・!運転手寝てんじゃねえか!?!」

うつすら見えた運転席にはハンドルに身を委ねているオッサンが・・・!?!

「ヤバイヤバイヤバイ・・・しかもこっち来てるし!?!」

そう思った瞬間には目の前に大型車が・・・!

(・・・随分とテンプレートな死因だな・・・)

と思った瞬間俺は強い衝撃に襲われ意識を手放した・・・

・・・

(ん・・・こ・・・こ・・・は・・・?)

視界がぼんやりしている・・・病院か・・・?

（視界が・・・ん？・・・ここ・・・）

目の前には知らない男女二人がうれしそうにこっちを見ている・・・  
（・・・もしかしてもしかしなくても・・・）

そう思い耳を澄ます・・・

「君に・・・かわ・・・子だ・・・」男の声・・・？

「あなたに・・・たく・・・うな・・・男の・・・」こんどは女・・・？

・  
・  
・

（・・・やっぱりアレか・・・転生ってやつか・・・）

・・・眠い・・・子供になったから・・・？

（・・・今は休もう・・・）

そう思い俺は寝ることにした

・・・幸い無意識に泣いていたそうで不信がられることはなかった

それから13年後・・・物語は動き出す・・・

ブログ・・・あとキンクリ？（後書き）

・・・13年はやりすぎかな？

キンクリ後・・・(前書き)

やりすぎたかも(キンクリを)

キンクリ後・・・

テンプレ過ぎる転生から13年後・・・年が経ちすぎ？作者に聞け

俺は今14歳だ・・・ここまでで分かったことを話す・・・

ここは古代の世界みたいなもんだ・・・服はしっかりしている・・・  
次に俺の名前だが・・・転生前と同じで良かったよ・・・え？教え  
ろ・・・？

・・・俺の名前は・・・

「ジン」

・・・昔の苗字は佐伯だ・・・さえきじゃない・・・サハクと読む  
んだ・・・

厨二臭いな・・・やっぱ・・・

俺はこの世界で10年間いろいろなことをやった・・・え？4年間  
どうしたって？

ガキが家から出してもらえと思うなつつうの・・・

この世界で分かったことがたくさんある・・・

・この世界は苗字という概念がない

・変なところで発達している・・・織物とか・・・

・主食は肉だった・・・最初は不味かったが慣れると良いものだ・・・

・

・俺のことなんだが・・・神童とか言ってもてはやされている・・・



なぜかって？

一部の大人しか読めなかった文字をすらすらと読んだこと・・・  
そしてなにより身体能力がハンパなかったんだ

3 m くらいの高さなら余裕でジャンプできた・・・自分でも怖い  
よ・・・

そんなときに俺の第二の人生いを変える出来事が起こった・・・  
俺たちが住んでる村を大嵐が襲ったんだ・・・

そんな中俺は・・・

もう一度死んだ。

随分とエグイ死に方だったよ・・・  
大岩が飛んできて  
グシャッ・・・だからね・・・

そんな俺は不思議な事に・・・

もう一度転生した・・・

今度は前の世界・・・一回目の転生の世界よりも文明が進んでた稲作があったから・・・縄文後期か弥生時代かな・・・？

で・・・だ・・・

（書く技量がないので超カット）

二十数年がたった・・・（速すぎるか？）

俺は旅に出ていた。

追い出されたからだ・・・

俺は異端だと・・・

仕方ないよなあ・・・

なぜか髪の色が脱色して灰色になったし・・・

なんか変なことが出来るようになった

俺の周りを蒼や翠の粒子が舞うようになった

・・・ON、OFFは出来るがどのようにして使うのか分からないのでOFFにしてある

旅の途中・・・

謎の眠気に襲われた

（・・・なん・・・だ・・・？急に・・・体が・・・重く・・・Z Z  
Z）

パタッと言う軽い音とともに彼は倒れると

・・・

蒼と翠の粒子となって消えた・・・

## キンクリ後・・・（後書き）

・・・これで東方世界に入ります。  
無理やりすぎましたね？

次の話は感想が着たら書きます

## 主人公設定（予定）（前書き）

サブタイまんまです

## 主人公設定(予定)

主人公

名前 佐伯 迅 (この小説ではカタカナで書きます)  
サハク ジン

能力 粒子を司る程度の能力

モチーフ GN粒子(ガンダム00) いろんなゲームの粒子  
メイプルストーリー デーモンスレイヤーの技を  
参考にしてたり

はっきりに言ってチート。本気になれば弾幕すら無効化できる。  
ワープしたり(スキマ涙目)

シールド作ったり武器にしたり、超万能。  
周りに拡散した妖力や神力を吸収できる

その他の能力(Fete風に)

筋力A- (普通の鬼とかち合って勝つ程度)

魔力B (マスパ1, 5発くらいなら撃てる)

妖力EX+ (能力のおかげでほぼ無限)

霊力A+ (同上だが容量が少ない・・・といってもへっぽこ陰陽師の数千倍だが)

神力S (なぜかある・理由は後ほど)

俊敏EX (天狗に余裕勝ちする程度)

幸運S+ (ひよんな事から旗が立つ程度)

## 人物紹介

2回死んで東方の世界に入った。原作知識有り。EXシューター  
(作者はイージーシューター)  
予定としては 元人間 三分の一妖怪 三分の二神 の予定。  
実力は

ジン>>>(越えられない壁)>>霊夢≧紫>>幽香||幽々子>>  
聖>神奈子≧諏訪子>>その他

・・・こんな感じかな?今はこんな感じですよ。何かあったら  
修正します

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8185y/>

---

東方粒子黙

2011年11月24日11時13分発行